議会運営委員会視察研修報告

令和2年1月22日(水)～23日(木)

南島原市議会に於いては、これまでも議員の質問に対して、市長等が議長の許可を得て論点・争点を明確にするため、反問することが出来る反問権の付与や一般質問に於ける「一問一答方式」など、議会改革について積極的に取組んできました。更に議会が市民の厳格な負託に応えるため、議員の逮捕や長期欠席等の場合の差し止めや減額に関する議員報酬等の条例関係について、去る1月22日から23日にかけ既に条例制定されている福岡県の田川市議会と久留米市議会を訪問し、両市議会に於ける条例制定の経緯や条例制定（改正）に関する議員の意見や条例適用の有無・条例制定後の課題や問題等について詳しく丁寧なご説明を頂きました。

両市議会の議員報酬等の条例での大きな違いは、田川市議会に於いては、議員報酬等条例とは別に議員報酬等の特例に関する条例を制定されているのに対し、久留米市議会に於いては、議員報酬等条例の一部改正で対応されているということであります。また、条例制定の経緯については、田川市議会では、他の市議会に於いて議員が逮捕される事案の発生や、その議員に対する議員報酬の支払い報道を受け、条例を制定されたということで、久留米市議会は、議員が逮捕される事案の発生を受け条例の一部改正をされたということでした。両市議会の相違点は、議員が刑事事件の被疑者または被告人として逮捕、拘留など身体を拘束される処分を受けた場合、議員報酬等の支給停止の部分について、田川市は処分を受けた翌月から、久留米市は処分を受けた日から支給停止となる点であり、その刑事事件について不起訴又は無罪が確定したときには、支給を停止されていた議員報酬が支給されることになります。なお、田川市では長期欠席に伴う規定が定めてあります。この他にも活発な質疑応答があり、両市議会の条例を参考に本市議会に於いても条例制定に向け前向きに取組んでいくための有意義な視察研修であったと思います。

田川市議会研修

久留米市議会研修

議会広報編集特別委員会視察研修報告

令和2年2月3日(月)～4日(火)

〈2月3日〉

◎沖縄県豊見城市

研修先　豊見城市役所

〈研修項目〉議会だよりの編集方法及び発行状況について

今回訪問した豊見城市は、面積は本市の8分の1弱ながら、本土復帰を境に、人口が急増し続け、平成14年に、地方自治法施行後初となる、村からいきなり市へ移行し、現在約6万2千余の人口である。また、3年連続で都市成長ランキング1位を誇る成長著しい自治体である。

議会は、昨年2月の改選を経て、22名で構成されている。その内8名が新人で、平均年齢も39歳という若い議会であり、議会基本条例を基に、議会改革にも前向きに取り組んでおられた。

本市に比すると羨ましい限りだが、国保会計の赤字や、教育行政、高齢者福祉の問題等は、同様に懸念課題として取り組んでいるという事であった。

質疑応答の主な内容は、議会だより編集作業の進め方について、編集・発行にあたり配慮・工夫されている点についてを柱に行った。

主なものとして、豊見城市はUDデジタル教科書体（視覚障害者が見やすい）を採用し、文字のバリアフリー化を進めているが、コストについての質問や、広告掲載について、読みやすい紙面作りについて等、広報紙に関わる内容の他、議会のタブレット導入、議会構成、市の予算、企業誘致等、多岐に渡りディスカッションを行った。大変に参考になった内容もあり、今後の本市議会へ是非活かしたい。

今回の視察にあたり、大城議長様及び、約1時間30分に渡り、丁寧に答えていただいた新垣委員長始め議会事務局の皆様に忠心より御礼申し上げます。

〈2月4日〉

◎沖縄県那覇市

視察先〈世界文化遺産構成資産〉首里城跡、園比屋武御嶽石門、玉陵

平成12年に、世界文化遺産に登録された「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の構成資産における、世界遺産の保存及び活用に係る取り組みについて、現地視察を行った。

豊見城市議会研修

首里城跡視察